

Classi



皆さんの学校生活を

様々な面からサポートします

Classi*は、皆さんの勉強をサポートする「学習機能」、学校生活の気づきや学びを蓄積する「ポートフォリオ機能」、先生とのやり取りをスムーズにする「コミュニケーション機能」などの各種機能を搭載したサービスです。

*Classi は、ベネッセホールディングスとソフトバンクの合併会社であるClassi株式会社が提供するサービスです。

まずはアプリをダウンロード！
Classi ホームアプリ

App Store からダウンロード

Google Play で手に入れよう

片方のコードを指で隠して読み取り

例えば、こんな機能があります



先生からの情報が届く

校内グループ

先生からの連絡事項などが届きます。校内グループに情報が残るので、あとで見返すこともできます。その他、先生からアンケートや学習の課題などが配信された際も、校内グループに通知が届きます。



アンケートや振り返りをする

アンケート

先生からアンケートが配信されます。質問に回答したり、学校行事や課外活動での学びの振り返りを記録したりすることができます。その時々々の率直な感想や印象を自分の言葉で残しましょう。



学習時間を記録できる

学習記録

毎日の学習時間を教科別に記録できます。自分のがんばりが数字で蓄積されるので、机に向かうモチベーションもアップ！起床・就寝などの生活サイクルも記録でき、生活時間の見直しにも役立ちます。



日々の気づきを記録できる

ポートフォリオ

部活やテスト勉強、資格取得やボランティア、ホームステイ…高校生活でがんばったことや気になったこと、気づいたことをポートフォリオに記入できます。継続することで、自分の成長に気付きやすくなります。



学校からの課題に取り組む

Webテスト

先生から、朝自習や夏休みの課題をWebテストで配信されることもあります。Webテストが配信されると、お知らせが通知されます。取り組んだあとは、すぐに、自分の解答と、正答を確認することができます。



目標を立ててテスト対策

学習トレーニング

「自主学習機能」は自分の目標やベネッセテストの結果から最適な問題を出題する機能です。ベネッセテストの受験前・受験後において、事前には、出題範囲の問題に挑戦。事後には、自分の苦手を克服するための効率的な学習に取り組むことができます。



理解をより深められる

学習動画

義務教育から大学入試対策まで、標準で約12,000本の動画を搭載。ベネッセのテスト結果と連動した動画が、個々に合わせた学習をサポートします。授業の予習・復習はもちろん、テスト対策にも役立ちます。

操作がわからない時は、「ヘルプページ」で検索 🔍

<https://support.classi.jp/hc/ja>



ブラウザ版、アプリ版の画面右下からもご利用可能です。



校内グループ

ヘルプページ



学校や先生からの連絡を確認しよう

1. ホーム画面 - [校内グループ] をタップ。
2. 左上の [≡] をタップして、「参加グループ」から、連絡を確認するグループを選ぶ。
3. グループボードで投稿内容を確認し、必要に応じて [「見ました」を押す] をタップ。



アンケート

ヘルプページ



アンケートに回答しよう

1. ホーム画面 - [アンケート] をタップ。次の画面で[アンケート回答] タップ。
2. アンケート一覧から回答するアンケートの[回答する]をタップ。
3. 設問の回答を入力し、[回答を完了する]をタップ。



「通知」をONにして、新しい連絡やアンケートをいち早くキャッチ

Classiに届いた最新情報をプッシュ通知で受け取ることができます。自分あてのメッセージや所属する校内グループの連絡を受け取れるので、確認し忘れを防げます。どのお知らせを受け取るかは「通知設定」で選択できます。





日々の学習時間を蓄積・可視化しよう！

1. ホーム画面 - 「学習記録」をタップ。
2. 記録する日付を確認して「入力・編集」をタップし、活動時間やコメントを入力。
3. 「内容を確定する」をタップ。学習・生活習慣の振り返り・向上に役立てましょう！



ストップウォッチ機能で、記録カンタン

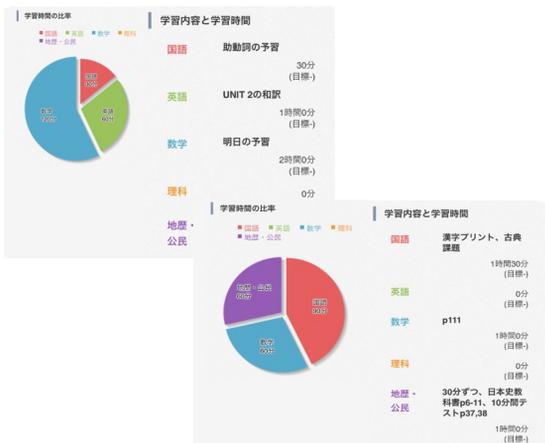
ストップウォッチは、学習時間の入力と計算を自動でおこなう機能です。
iOS版では、「学習記録」内の右上に、
Android版では右下に、
ストップウォッチボタンが表示されます。



記録したら、定期的に見返そう

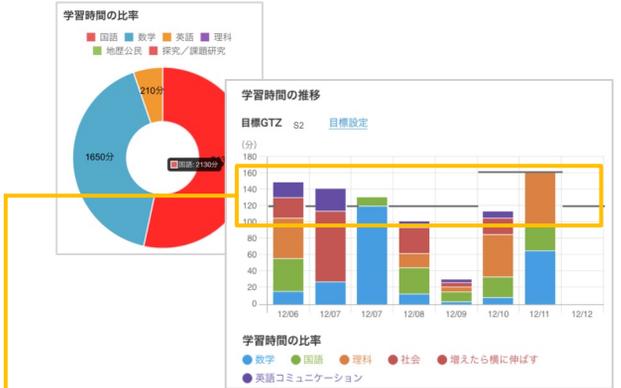
例) 1日のまとめを見返す

各教科、どのような内容にどれくらい時間をかけているか（予習／復習、課題／自習）、改善点はあるか



例) 1週間、1ヶ月ごとに見返す

各教科の学習時間に偏りがなく学習時間の目標に足りているか、不足を補うために放課後や週末をどう過ごすか



「目標GTZ」に向けた学習時間の目安の表示には、「目標GTZ」の設定が必要です

▶手順

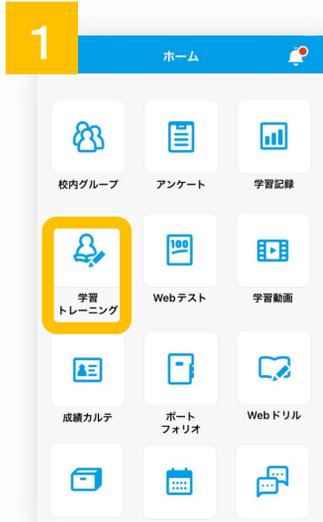




学習トレーニング

目標学力を設定しよう！

1. ホーム画面 - [学習トレーニング] をタップ。
2. 各教科の目標学力を設定 - [学習トレーニング]をタップ。



GTZって何？

「GTZ」とは、「学習到達ゾーン」の略です。SからDまで大きく5段階あり、上のレベルにいくほど進路の選択肢が増えていきます。

- S** … 難関大合格レベル
- A** … 国公立・中堅私立大合格レベル
- B** … 国公立・中堅私立大挑戦レベル
- C** … 4年制大挑戦レベル
- D** … 基礎・基本養成レベル

※目標設定で設定できるのはS-Cの4段階です。

問題を選ぼう！

3. 対象のテストをタップ - 教科を選びタップ
4. 解きたい中単元をタップ
5. 解きたい小単元をタップ
6. 問題を選びタップ



アイコンについて



設定した目標GTZを上回っている場合に表示されます。



トレーニング完了に必要な問題数を正解すると表示されます。



進研模試・スタディーサポート・進路マップ基礎力診断テスト・学力推移調査の帳票に表示されている教科ごとのGTZが表示されています。

※結果GTZは、受験結果が反映されていない状態では表示されません。

※進研模試「高1生7月～高2生1月回」が”対象”、学力推移調査「1年生1回」は”対象外”となります。

学習トレーニング

解答しよう！

7. [解答する]をタップ。
8. 問題を解く - [見直しをタップ] - [答え合わせ]をタップ



解答内容を確認して終了！

9. 答え合わせ内容を確認



学習のヒント

■ 事前学習

どの単元を選んでいかわからないときは

- ・最近習ったばかりで、まだしっかりと理解できていない単元
 - ・だいぶ前に習ったけど、自信がない単元
- を選んでみましょう。

■ 事後学習

目標を達成できた単元には「目標GTZ 達成」のラベルが表示されています。

「目標GTZ 達成」のラベルが表示されていない単元はあなたの伸びしろとなる単元です。特に目標GTZ との差が大きいものから取り組みましょう。



先生からの配信課題に取り組もう！

1. ホーム画面 - 「Webテスト」をタップ。
2. 「未解答」タブの一覧から取り組むテストをタップ。
3. 問題数、目標点、制限時間、提出期限を確認し、「解答を始める」をタップ。
4. すべての問題について解答を終えたら、「解答を完了する」をタップ



！ 提出期限を必ず確認しよう



「解答期限」を確認する

「並び替え」で「提出期限」順にソートできます。

！ テストの復習をする場合は…



「解答済」タブでテストを選ぶ

「復習する」ボタンをタップ



学習動画

5分で予習・復習ができる

1. ホーム画面 - [学習動画] をタップ。
2. [おすすめ]もしくは[検索]から、取り組む教科や問題を選ぶ。
3. 先生から配信された課題は、[先生課題]をタップして取り組む。



「学習マップ」で苦手を克服しよう！

学習マップは受験した基礎力診断テスト・スタディーサポートの成績から、あなたにあった問題をClassiのAIが選び、弱点順（D→Sの順番）に表示しています。単元を選択すると学習がスタートします。まずは最も苦手な分野から取り組んでみましょう。

1 [学習マップ]をタップ



2 取り組む単元を選ぶ



3 動画を視聴し[次の取り組みへ]をタップし、テストへ



特に取り組んでほしい問題を順番に表示しています。上から順番に取り組むのがおすすめです。

ポートフォリオ



日々の振り返りを書いてみよう！

学校生活には、勉強以外の気づきや学びも多くあります。「ポートフォリオ」は、そういった日々の学習や部活動のこと、テストの振り返り、進路の悩み、将来の夢、学校行事、ボランティア活動など、さまざまな気づきを記録する機能です。記録を見て、客観的に自分を振り返りすることで、**変化・成長**を実感でき、それが**自信**の土台となります。蓄積したポートフォリオは、自分の進路を選ぶキッカケや、大学へ提出する志望理由書や小論文・面接の対策にもなり、自分の希望する進路を実現する手助けにもなります。

活用のステップイメージ



1

2

3

4

ホーム画面にて、
「ポートフォリオ」をタップ

「活動記録の新規作成」
をタップ

振り返りを記入

「作成を完了する」をタップ

「アルバム」を使って、活動の記録を整理しよう

勉強、部活動、課外活動など各活動ごとにアルバムをつくり、活動記録を振り分けておきます。整理整頓することで、振り返りもスムーズにおこなえます。アルバムは、先生が作成するものと自分自身で作成するもの、2種類があります。



▼手順



ポートフォリオ (振り返りの例)

■ 課外活動 (部活) の記録

× ポートフォリオ

区内エリアマラソン大会の振り返り

* 結果・感想: どんな結果でしたか? どう思いましたか?
5km 22'17
5kmが初めてだったけど、目標にしていた25分をクリアできたので良かった。

* 良かったこと: 良かったこと、今後も続けたいことは何ですか? どうしてうまくいったと感じますか?
練習で、実践していたペースを意識できたので、序盤からいいペースで走れていた。

* 困ったこと・問題点: うまくいかなかったことは何ですか? どうしたらうまくいったと思いますか?
自分のペースは保てていたけど、後ろの人に抜かれるのが続いた時に、精神的に焦ってしまい、息が必要以上に上がってしまった。自分のペースに集中するように心がける。

! 具体的に書くことを意識しよう

●【振り返り】

- ・ 何をしたのか
- ・ どのような成果が出たか
- ・ どう考えたか・どう感じたか

●【目標】

- ・ 結果を分析し、次に向け、何を実行・工夫するのか

■ 活動記録を3年間蓄積していくと…

大学入試や進路を検討する際に役立てたり、自己PRの具体的なエピソードとして活用できたりします。

まとめ直すときは、「第三者に伝わる言葉」を意識してみましょう。

× ポートフォリオ

≡ ストーリー

1年 2年 3年 まとめ

📖 学習

教科・科目の学習
作成日時: 2021/01/13 16:11
更新日時: 2021/11/05 15:50

やったこと・考えたこと 編集

国語
現代文が苦手だったが、1日30分ほどZ会出版の「キーワード現代文」を読了し、暗記したことで共通試験の評論文は70%以上を継続して取れるようになった。

▼英語
英単語について、1年終了時までターゲット1400、2年終了時点でターゲット1900をマスターし、長文読解の際に、わからない単語に遭遇する機会を激減させることができた。また、英検準1級も取得することができた。

探究学習
作成日時: 2021/01/13 15:21
更新日時: 2021/06/03 10:06

やったこと・考えたこと 編集

【町の魅力発信プロジェクト】
●高校のある▲町の観光施策の一環として、町の地域商店の魅力発信にグループで取り組みました。
具体的には、町の和食料理店の店主さんにインタビューを実施し、地元のジビエ食材を生かした料理の紹介や、生まれ育ってきた▲町への愛着などをまとめ、ポスターとSNS発信用バナー画像を作成しました。また、その過程では、▲町の抱える観光課題についても考察を進めました。1980年代は「anan」「non-no」といったアノン族から人気を博したが、その後観光産業は衰退したが、小京都としての街並みは現在も健在であり、SNSを通じた観光復興の可能性はまだ十分にあると仮説を立て、成果物を広報ポスターだけではなく、SNS拡散しやすいバナー画像も追加作成しました。
最終的に、町長への政策提案までやり切れたことで、町での理解や、自身の興味関心と考えています。

! ポートフォリオ「ストーリー」機能

ストーリー機能は、ひとことで言うと振り返りの「清書」です。

1年生、2年生、3年生それぞれの学年でまとめ直しをしておくことで、自分の好きなことや考えを改めて発見しやすくなります。